

庁舎	つくば地区（旭）
受入担当研究室	道路構造物研究部 道路地震防災研究室
キーワード	道路被災状況把握、リモートセンシング技術、モニタリング技術
受入研究課題	道路被災状況を即時把握する覚知技術に関する研究
課題内容	地震や豪雨により発生した道路施設被害を即時把握する覚知技術の研究を行う。特に衛星やUAVなどを活用したリモートセンシング技術、非接触検知センサ等を活用したモニタリング技術を対象に検討する。
関連リンク	・ 衛星SAR画像を活用した道路被災状況把握の適用性に関する検討（国総研レポート2024, pp. 48-49） （https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/2024report/ar2024hp024.pdf） ・ 自動航行UAVを用いた実道における被災状況把握実験（土木技術資料, 第64巻, 第4号, pp. 24-27, 2022）
求められる 関連業務実績	衛星、UAVなどのリモートセンシングや、非接触検知センサを用いたモニタリングのうち、いずれかの技術を用いた施設の状況把握に関する業務
研修成果目標	・ 災害対応の最前線、意思決定者のニーズ把握 ・ 行政ニーズを踏まえたソリューション提案のための調査の計画立案・実施能力 ・ 土木学会等への論文発表 ・ 道路の被災実態把握 ・ 最新技術を用いた道路被災状況把握に関する総合的な専門知識・技術の取得
指導内容	・ 行政ニーズを踏まえたソリューション提案のための調査の計画立案・実施能力の育成 ・ 災害覚知技術から得られるデータの収集・分析を通じた道路被災把握手法の検討 ・ 実験、現地調査等の実施 ・ 成果物（論文、国総研資料等）のとりまとめ指導
受入研究課題に関連 するその他の研究室 等の有無	無